

事務事業名		郷土資料保存三好館運営事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	郷土博物館
	政策	2 生涯にわたり学びのあるまちづくり					担当係			担当課長名	山口明良
	施策	2 歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 地域の歴史・文化の理解の促進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14857	一般	10	4	4	郷土資料保存三好館運営事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H16年度～ 年度		根拠法令 条例等	博物館法 佐野市立博物館条例		実施方法		直営	
								事業分類		施設維持管理事業(市以外が主体)	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
							市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
指定文化財である郷土資料保存三好館を活用し、地域の協力を得て、展示見学の利便を図る。受付や展示見学の案内等の開館業務を三好地区町会長に委託し、地元住民(ボランティア)が交替で管理を行う。			・管理運営業務を三好地区町会長に委託 ・戸室・船越・岩崎地区のボランティア8人が交代で開館業務を行う。 ・定時開館：毎月第2・第4日曜日、臨時開館 2日(9/11、1/20)							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
開館日数			日	28	26	28				
ボランティアの延活動者数			人	52	52	52				
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
①入館者 ②地元自治会(ボランティア)			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
入館者					人	173	91	150		
ボランティアの延活動者数					人	52	52	52		
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標							
地元自治会との協働により、三好館の管理運営を行い、見学者の利便を図る。			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
入館者			人	173	91	150				
開館日数/定時開催日数			%	116.7	108.3	110.0				
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
地域の歴史と伝統を知ってもらい、郷土への愛着を育んでもらう。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
佐野市の歴史と伝統を知っている市民の割合					%	91.6	93.1	93.5	94.0	94.5

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	150	144	152					
	事業費計(A)	千円	150	144	152	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			管理委託料	150	管理委託料	144	管理委託料	152		
	人件費	人	2	2	2					
のべ業務時間	時間	240	240	240						
人件費計(B)	千円	934	946	946	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,084	1,090	1,098	0	0				

事務事業名	郷土資料保存三好館運営事業	担当部	教育総務部	担当課	郷土博物館	担当係	
-------	---------------	-----	-------	-----	-------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧田沼町が設置した郷土資料保存三好館を、平成17年の合併時に引継ぎ、郷土博物館の別館として位置づけたことに始まる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	合併時と比べて、管理運営を委託している地元自治会のボランティアの確保が難しくなっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 三好館は、郷土の歴史、民俗等に関する資料を保護活用し、郷土意識の高揚及び文化の振興を図ることを目的として開設されたものであるため、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 三好館を管理運営することは、教育普及の支援施設として、地域の学術・文化水準を押し上げる役割を持ち、住民福祉の向上(地方自治法の掲げる目的)に適うものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 三好館は、旧三好小学校の校舎を移転・整備したもので、明治期の学校建築・施設を知る上で大変貴重な建造物である。その貴重な歴史的文化遺産を地域との協働により保護活用していくことは、意味のあることである。対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 三好館の常設展示は、その設立目的から固定的なものであり、展示・公開方法などに向上余地は少ない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 三好館は、旧三好小学校の校舎を移転・整備したもので、明治期の学校建築・施設を知る上で大変貴重な建造物である。その貴重な歴史的文化遺産を地域との協働により保護活用していくことは、意味のあることである。対象と意図は妥当である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 博物館法では、「公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。但し、博物館の維持管理のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。」と規定されている。三好館は常設展のみのため、受益者負担はそぐわない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 三好地区町会との委託契約ができなくなった場合または閉館になった時に事業は終了する。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			